



令和2年4月20日(月)
日野市立旭が丘小学校
第1学年 学年だより
臨時号②

季節は春真っ盛り。世の中の状況に関係なく、自然はいつもと変わらず変化していきます。旭が丘小学校の校庭からは美しい富士山が見えます。休校日が続き、親子共に疲れが出始める頃ではないでしょうか。朝食前に散歩する、天気の良い日はベランダや庭で日光浴を兼ねてランチを食べるなど少しの工夫で親子共に、気持ちが明るくなります。ぜひ、試してみてください。

「わくわくタイム」② ～算数科につながる活動～

学校の再開時に、スムーズに学習活動が送れるよう、集中して取り組む時間をつくるための工夫です。お子さんの様子に合わせて、できるところから取り組んでください。

1. いくつになるかな？遊び

おやつや食事の時間等に、お皿に盛りつけられた食べ物の数を数えます。例えば「クッキーが5枚あるね。」「1枚食べたから残りは？数えてみようか」とひき算につながるような活動をします。生活場面を通して数の感覚を身に付けさせます。この時期の子供は5までの数が分かりやすいといわれています。慣れてきたら、同じ大きさ・同じ形のおはじきやブロックなどで「2と3で5」「1と2で3」など5までの数のたし算的な活動に挑戦してみましょう！

2. 数のめいえ

白い紙に同じ大きさの○を5つ描きます。「3つ赤で塗ってごらん」「5つ青で塗ってごらん」など色や数を言います。色と数、2つの指示を聞いて活動する練習で、前号でお伝えした集中力を高める活動にもなります。最初に「2つ赤で塗ってごらん」次に「青で1つ塗ってごらん」最後に「2と1で3だね」と色を塗った○を数えればたし算的な活動にも発展できます。

今回2つの活動を紹介しましたが、工夫次第で活動は無限大です。「何をしたらいいのだろう」と困ったら、深呼吸して「何ができるだろう」と視点を変えてみてください。きっとできることが見つかります。昼食時に時計を見て「〇時〇分だね」と話せば算数の学習、散歩中に見つけた虫を「何しているのかな」と観察したら生活科の学習等どんなことも必ず学習につながります。日々の何気ないお子さんとの時間をどうぞ大切に過ごしてください。